

議事録

平成19年度 第53回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成19年6月5日(火) 13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、国武副学長、晴山副学長、近藤副学長、羽田野事務局長、板谷外国語学部長、迎経済学部長、赤塚文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、棚次学術情報総合センター長、伊野入試センター長、漆原基盤教育センター副センター長、前田評価室副室長

配布資料

- 1-1 欠員補充申請書(外国語学部)
- 1-2 欠員補充申請書(基盤教育センター)
- 1-3 退職願(経済学部)
- 2-1 平成18年度計画に係る自己点検・評価報告書(案)
- 2-2 平成18年度計画に係る自己点検・評価 集計表
- 3-1 北九州市立大学大学院社会システム研究科博士前期課程の設置について
- 3-2 国際環境工学研究科新専攻の設置及び国際環境工学部学科の再編について(案)
- 3-3-1 昼夜開講制の見直し及び地域創生学群の設置について
- 3-3-2 北九州市立大学地域創生学群設置準備室要綱(案)
- 参考-1 学部等の意見一覧(昼夜開講制の見直し及び学群の設置)
- 参考-2 学群設置に係る検討経過、学群のニーズ、地域創生学群財政収支見込みの試算
- 参考-3 北九州市立大学地域創生学群設置構想(案)
- 4 平成19年度特別研究推進費交付採択研究一覧

(冒頭、第52回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、4月採用人事について、外国語学部からの申請に基づき、「宋元明清時代の白話(口語)文学・中国語教育」を担当する専任教員1名の採用を提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(提案の承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2のとおり、4月採用人事について、基盤教育センターからの申請に基づき、「教養教育(倫理、哲学、思想)」を担当する専任教員1名の採用を提案。

議事録

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（提案の承認の後、選考委員会を設置）

* 経済学部からの申請に基づき、教員の退職の承認について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 平成18年度計画に係る自己点検・評価について

* 第52回教育研究審議会で提案した上記議案について、各学部等の意見を踏まえ修正し、資料2-1及び資料2-2のとおり提案。

- 項目によって、自己点検・評価では「順調に実施」なのに中期計画上の進捗は「検討中」と位置づけられているのはなぜか。
- 本評価は、18年度計画の実施度合いを示したものであり、6年間で見ると中期計画の進捗と差が生じる場合はある。
- 本学のホームページは、学部間の統一がとれてないほか、英語版の内容が不十分で情報の更新もなされていないなど、早急な改善が必要と考えるが、平成18年度の自己点検・評価上どう位置づけるのか。
- 現状の課題は記載することとしたい。ホームページについての具体的な改善作業は平成19年度に実施予定である。
- 委員会での検討や報告書を作成しただけのものに対し、専門職大学院の設置といった大学として重要な取り組みの達成については相当の評価に見直すべきではないか。
- 指摘を踏まえ一部記述を再検討したい。

【議長】提案について、本日の議論を踏まえ修正のうえ、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 学部学科等再編について

(1) 社会システム研究科の拡充及び文系修士課程の再編

* 第52回教育研究審議会で提案した上記議案について、文言を一部修正し、資料3-1のとおり提案。

【議長】提案について、本日の議論を踏まえ修正のうえ、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

(2) 国際環境工学研究科新専攻の設置及び同学部学科再編

* 第52回教育研究審議会で提案した上記議案について、文言を一部修正し、資料3-2のとおり提案。

議事録

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（3）昼夜開講制の見直し及び学群の設置

＊ 第52回教育研究審議会で提案した上記議案について、文言を一部修正し、資料3-3-1及び資料3-3-2のとおり提案。

- 学群の専任教員は今後どのように決定するのか。
- 学部学科再編時の原則を踏襲し、教員本人、現在所属する組織、受け入れる組織の三者すべてが合意することを前提とする。
- 基盤教育センターから専任教員に加わる教員はどの程度科目を担当するのか。
- 現時点では、6名のうち3名は基幹科目に加え、各コースの中心となる演習等の科目を担当していただき、残り3名はそれよりも負担を軽くしたいと考えている。
- 学群の志願者確保は誰が行うのか。
- 学群設置は全学的に行うもの。従って、志願者確保も学群の専任教員だけに任せるのではなく、大学全体で取り組む。
- 学群のカリキュラム編成はどのように行うのか。
- 設置準備室と学部が協議する仕組みを設けたい。

【議長】資料3-3-1の提案について、承認してよろしいか。また、資料3-3-2については、次回の教育研究審議会で審議・決定するものとしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ①特別研究推進費 応募・採択状況について、資料4のとおり報告があった。
- ②次回の審議会を6月26日（火）に開催する予定である旨、報告があった。